



## 「笹山ハイキング」参加者募集のお知らせ

大鹿村では、ジオパーク全国大会のツアーとして、9月30日（火）に笹山へのハイキングを企画しています。そこで、7月はコースの下見を兼ねたハイキングを行います。参加を希望される方は、7月25日（金）までに博物館へメールまたはお電話下さい。※雨天中止

〈 TEL : 0265-39-2205、E-mail : mtl-muse@osk.janis.or.jp 〉

- ◇ 日時：7月27日（日）午前8時（集合）～午後4時（解散）
- ◇ 集合・解散場所：大鹿村交流センター
- ◇ 服装・持ち物：山歩きできる服装、昼食、飲み物、雨具
- ◇ 参加費無料。ただし、交流センターから黒川牧場まで乗り合いで行くので、乗せてもらう方は運転手（車の所有者）にガソリン代として、1人¥200をご負担下さい。
- ◇ コース（予定）：  
8：00 交流センター集合、自動車（乗り合い）で黒川牧場まで移動  
9：00 黒川牧場 駐車場からハイキング開始  
11：00 笹山  
12：00 ～ 13：00 入山（入り口）にて昼食、折り返し  
14：00 笹山  
15：00 黒川牧場 駐車場  
16：00 交流センターにて解散

## ♨鹿塩温泉の謎が解けてきた！♨

鹿塩温泉は山の中にあるのに濃い食塩（NaCl）を含み、不思議な温泉として知られていました。1980年ごろには松葉谷（まつばや）秋田大学名誉教授（当時は岡山大学温泉研究所）により、神戸の有馬温泉と鹿塩温泉の水は、太平洋をとりまく火山帯のマグマに含まれている水と同じ性質の水であることが明らかにされました。

太平洋をとりまく火山帯では、海洋プレートの沈み込み口である海溝やトラフ（浅く幅広い海溝）から数100km内陸側に、海溝やトラフと平行に火山が並んでいます。その下では、大陸の下へ斜めに沈みこんでいる海洋プレートが深さ100km～200kmに達しています。最近の火山学では、沈みこんだ海洋プレートに含まれていた水が、大陸プレートの下のあたたかい岩石に混ざり、岩が融けやすくなってマグマができると考えています。

大鹿村の下では、沈みこんだフィリピン海プレートの上層が深さ35kmにあります。その上の大陸側の岩石は、融けてマグマができるほど高温ではないので、フィリピン海プレートから放出された水がそのまま上昇して、鹿塩に出ていると考えられます。

平成21～25年度の5年間、日本列島の地殻に含まれている水（地殻流体）について、多くの学者が参加する文部科学省の研究プロジェクトが行われました。博物館ではプロジェクトリーダー

の1人である、風早康平さんを昨年6月にお招きして講演して頂きました（講演記録は博物館で発売中）。5年間の研究により、西南日本の南海トラフと火山帯の間の多くの地点で、鹿塩温泉と同じく深部から上昇している水が発見されました。また、深さ15～60kmでつくられた岩石の石英脈に包み込まれた水には、5～10%のNaClが含まれていることも確認されました。鹿塩温泉の塩分も、沈みこんだフィリピン海プレートから地下深部に放出された水に含まれていたものであることが確かになりました。

## ジオパーク全国大会に向けて ～勉強会の実施～

4月に引き続き、6月は2回、ジオパーク全国大会に向けた勉強会を実施しました。

6月18日（水）の勉強会には、大鹿村内外合わせて30名以上と、多くの方が参加して下さいました。今回は学習室での講義を少なくし、実際に展示されている岩石や模型を使って行いました。実物を示すことで、講義の内容を理解しやすく、参加者の皆様も納得されているようでした。

今後も博物館では、より良い展示・解説方法を工夫していきます。



展示室での勉強会の様子（6月18日）

6月29日（日）の勉強会では、実際に全国大会（9月29日）で予定しているコースを回りました。村外からの参加者も多く、合わせて20名以上の方が参加して下さいました。中央構造線の安康・北川露頭や河合の鞍部、夕立神展望台などを巡りました。また、本番のスケジュール作成に向けて、移動や現地での解説にかかった時間の記録なども行いました。



北川露頭での勉強会の様子（6月29日）

## 早稲田大学の巡検に同行しました

6月21～22日、伊那市高遠・長谷・大鹿村で行われた、1泊2日の早稲田大学大学院の巡検（勉強のために色々見て回る）へ同行させて頂きました。

講師の高木秀雄教授は、長年南アルプスを研究され、博物館へも多大な協力をしておられる先生です。昨年の開館20周年記念企画では、中央構造線について講演もして頂きました（講演記録は博物館で発売中）。

大学院の授業の一環ということで、専門的なお話もありましたが、実際の地形・地質を観察しながら大学の講義を聞くという、貴重な体験をすることができました。

## 昨年の講演記録を出版しました。博物館にて好評発売中！

- 『鹿塩温泉の水と塩はどこから来たのか？』風早康平さん講演記録  
講演日：2013年6月1日      サイズ：A4、58ページ      税込価格：¥700
- 『中央構造線の始まりから現在まで』高木秀雄さん講演記録  
講演日：2013年10月26日      サイズ：A4、76ページ      税込価格：¥800